

プレス発表資料



令和3年3月29日
秋田大学

「高度救命救急センター」開所式を行います

秋田大学医学部附属病院（病院長：南谷佳弘）は、秋田赤十字病院、循環器・脳脊髄センターと連携し、対応が難しい心臓血管外科疾患、多発外傷、広範囲熱傷、急性中毒、多臓器不全、眼科・耳鼻科・歯科口腔外科領域にまたがる外傷等を中心に、広く救急患者を受け入れる体制を充実させるための拠点として、令和3年4月1日に院内へ「高度救命救急センター」を開所します。

本院の救急体制をさらに強化し、秋田県全体の救急疾患の特に重症患者の大きな受け皿とすることは、県民に利することが大きく、人材育成においても高度救命救急センター化は他県に比べ人数が少ない救急専門医の増加、ならびに看護師、その他の医療従事者、救急救命士、救急隊員等の教育にも大きな効果をもたらすと考えられます。

については、以下のとおり開所式を行います。

日 時：令和3年4月9日（金）15：00～15：30

場 所：【開所式】
秋田医学部附属病院第二病棟救急入口

取材については、あらかじめ下記担当に連絡し人員数をお知らせ下さい。
取材の際はマスク着用・手指消毒にご協力お願いいたします。

担当：
秋田大学大学院医学系研究科・医学部
総務課長 斎藤 建一
TEL：018-884-6005
E-mail：ksaito@hos.akita-u.ac.jp